

博多区東吉塚校区自治協議会

「東吉塚音頭」にかける想い ～校区行事に一人でも多くの住民参加を!～

東吉塚校区自治協議会では、平成21年3月に「東吉塚音頭」を制作し、校区の祭りなどの行事に取り入れ、多くの住民が“踊りの輪”を広げています。

明るく、住みよい地域づくりには、住民一人ひとりが地域のことを考え、地域の行事や活動に参加したり協力することが大切と思っています。

そのきっかけになるのは“祭り”だと考え、「校区住民が一人でも多く、祭りなどに参加するには何をしたらよいか」をテーマに、自治協議会の中に「祭り企画検討委員会」を設置して検討を行いました。

その結果、地域に愛着を持って、住民みんなで楽



しめる東吉塚音頭を制作することを決定し、校区に在住する方にも作詞などの協力をいただきながら東吉塚音頭が誕生しました。

“人権の灯り輝くまちづくり”を願って、蓮のランタンを作り火を灯す「らんたんフェスティバル」とあわせて毎年開催する「夏の祭典」や、校区体育祭などの行事で東吉塚音頭を流し、地域の方々の踊りを取り入れています。こうして校区行事に多くの方々に参加していただき、明るく、住みよい地域づくりを目指しています。



東吉塚音頭

一 はこぎき様の お膝元
らよいとつま立ち 空港
博多駅 博多駅
昭和がかおる 吉塚市場
さあさ踊らう 皆で輪になって
老いも若きも 花盛り
東吉塚 東吉塚よかところ

二 ランタン揺れる 宵闇に
らよいと綺麗か 博多の
ごりよんさん ごりよんさん
夜店の灯り 星堂夜空
さあさ踊らう 皆で輪になって
音頭手拍子 夏祭り
東吉塚 東吉塚よかところ

三 博多の空は 日本晴れ
らよいと風切る いだてん
お兄さん お兄さん
町内燃える 対抗リレー
さあさ踊らう 皆で輪になって
明るい笑顔で 元気よく
東吉塚 東吉塚よかところ
さあさ踊らう 皆で輪になって
明るい笑顔で 元気よく
東吉塚 東吉塚よかところ



『健康でふれあいのあるまち』を目指して

四箇田校区自治協議会では、高齢になっても健康に生活できるよう「元気高齢者を増やそう!」と健康づくりに取り組んでいます(下の写真は、秋に開催した「校区ふれあいハイキング大会」)。

平成21年度は自治協議会の組織である衛生委員会、体育振興会、男女共同参画協議会と公民館により「健康づくり実行委員会」を立ち上げ、事業を企画しました。

よか脚づくり教室では保健師さんによるストレ



ッチなどの健康体操の指導を受け、四箇田ウォーキングマップに沿って歩きました。



ウォーキングマップは、校区内で自然を感じながら気軽に歩ける2~3キロのコースを6コースつくっています。歩くだけではなく、食生活改善のための「メタボ予防料理教室」も開催し、大変好評でした。

ウォーキングはパトロールも兼ねており、校区の安全安心にも役立ちます。校区の皆さんに健康について意識してもらい、日ごろからウォーキングするなど健康づくりのきっかけとなってほしいと願います。

警固ハートフルコンサート
～クラシックをもっともっと気軽に～

警固校区では、自治協議会と公民館の共催により、九州交響楽団員による年1回のクラシックコンサートを開催しています。

年々参加者は増えてきており、平成21年11月21日の土曜日に開催した第3回は、乳幼児からお年寄りまで350人を超え、とても盛り上がりました。特徴的なのは、これまで地域行事に参加しなかった方々が大変多く参加されたことで、地域



コミュニティに広がりをもたらしています。

今回で第3回目となり、子どもたちにもマナーが身に付き、静かに聴くことができました。また、小学校体育館の音響が良かったので参加者は演奏を堪能することができました。「素晴らしい響きの、心にしみる目の前の生演奏で子どもからお年寄りみんなで楽しくクラシック」という考え方が参加者と関係者に絶賛されているのです。

「住みよい町づくり」を合言葉に！ ～改革元年・住民協議会見直し委員会答申を受けて～

校区自治組織は、昭和55年の発足当初から13の町内会と15の各種団体で構成された住民福祉協議会がありました。それは、校区全体で運営する先進的で民主的な組織で、地域リーダーも若く地域力も旺盛で自治活動は活発でした。その後30年近く経過し少子高齢化が進み4人に1人が65歳以上の高齢者となった現在、校区の主要行事の遂行が困難になってきたので組織・運営のやり方を見直そうと平成20年6月に見直し委員会を立ち上げました。委員会では、



わたしたちも知恵を出し合い地域力UP!

近隣校区の状況の聞き取りなどを含め検討を重ねて、会長に委員会答申を提出しました。答申を受けて

住民協議会では、まず住民の意識の改革を図るため「住民協議会」を「自治協議会」に、「町内会」を「自治会」に名称変更を行いました。

具体的な答申内容の推進については、

- 平成21年度の取り組み
- 見直し委員会の検討
 - ①各種団体助成金の見直し
 - ②補助金活用事業企画見直し
 - ③組織の部会制への移行の検討
 - 防災・防犯・交通事故防止
 - ・青色パトロールカーの運行強化
 - 高齢者の見守りネットワークの再構築
 - 中学生の地域活動への参加促進
 - 公民館との連携強化の推進
- 平成21年度以降の取り組み
- 1.自治会活動の活性化のための検討
 - ・自治会長の若返りとレベルアップ
 - 2.多数の住民参画による事業推進
 - 3.自治会への加入促進

新しい委員会で検討を進め「安全で安心して住める町づくり」を目指し、平成21年度を「改革元年」と位置づけました。今後年次的に、住民一人ひとりが自治活動に参加し、地域住民の基盤である自治会組織の強化と活性化を図るため、今後も東若久校区自治協議会は地域自治活動に取り組みます。

「とざい、とーざーい」 今津校区自治協議会後援 ～福岡県指定無形民俗文化財「今津人形芝居」～

平成21年11月22日(日)に第13回今津人形芝居定例公演が今津小学校で開催されました。

当日の人形芝居の演目は六幕で、保存会や今津小学校3年生の皆さん、また、福津市勝浦地区の人形浄瑠璃保存会の友情出演等もあり、大変盛大な公演となりました。

今津人形芝居は、江戸時代後期の^{こうか}弘化年間に誕生して以来、160余年の歳月を経て、地元の人形芝居後継者育成会や人形芝居保存会「恵比須座」等により現在に受け継がれています。戦後の苦難を乗り越え、郷土芸能をまちの活性化にと推進してきました。

特に、今津小学校3年生の児童たちは、「恵比須座」の指導により毎年定例公演を行っており、今では、郷土芸能である今津人形芝居は平成生ま



れの子どもの手によっても受け継がれています。

子どもたちにも人形芝居を通して助け合う心が^{はぐ}育まれ、また、地域の活性化につながり人々の誇りになっています。このように、今津人形芝居が時代を超えて今日まで生き続けていることは素晴らしいことで、これも伝統文化を残していこうという地域の熱い思いの成果です。

東区美和台校区

美和台校区自治協議会

高橋 秀行会長

(東区自治組織会長会副会長)



- ①市住宅供給公社の大規模団地として開発され、昭和49年に誕生した校区です。丘陵地帯のため坂道が多く、住民の高齢化が進んだ今、日常生活への影響が大きくなりつつあります。
- ②校区誕生以来「まつり美和台」、「体育祭」を開催しており、校区内の交流や世代間交流を促進しています。特に「まつり美和台」は、この日に合わせて帰省される方も多く、例年約8000人が参加しています。また、校区情報を積極的に広報しており、毎月1回、校区広報誌「美和台通信」を発行するほか、美和台校区自治協議会のホームページも立ち上げています。「美和台通信」については、昭和50年2月1日号から35年間の長きにわたり発行しています。
- ③これからも、安全で安心のまちづくりの一環として、校区の高齢化対策、福祉活動の充実に取り組んでいきたいと思っています。

城南区別府校区

別府校区自治協議会

平岡 弘之会長

(城南区自治協議会連絡会議副会長)



- ① 城南区内の交通の大動脈である国道202号線が東西に、「城南学園通り」が南北に走っています。地下鉄七隈線(校区内に別府駅、茶山駅)が開業し、交通のアクセスも良くなりました。文教地区として中村学園大学もあり、人口増加が著しい地域です。
- ②安全パトロール車を活用した防犯隊、徒歩での「別府あんぜんほたる隊」による巡回や団体別の下校指導を毎月実施しています。また、健康づくりのために城南区のモデル校区として率先して取り組み、以後月1回のウォーキングや年1回の三世代ウォーキング大会に発展しています。また、夏祭りや防災訓練、スポーツ大会等を毎年盛大に行なっています。
- ③「健康で明るく、そして楽しい、住んで良かった別府校区」をスローガンに、多くの地域の皆さんとの絆を大切に、まちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

「福岡市住民自治フォーラム」を開催しました

平成22年2月10日(水)、福岡市立中央市民センターを会場に福岡市と福岡市自治協議会等7区会長会の共催で「福岡市住民自治フォーラム」を開催しました。

本フォーラムはコミュニティの活性化や住民自治のあり方を考える機会とするために企画したもので、自治協議会関係者など400名近くの参加者がありました。

博多区出身で立命館大学産業社会学部の乾亨教授の基調講演では、神戸など他都市の事例も紹介しつつ、地域を地域で運営することの大切さや、福岡の自治



協議会の取り組みに注目している、との話がありました。

またフォーラム後半では、乾教授に加え、自治協議会会長・学生・行政関係者を交えたパネルディスカッションが行なわれ、実際の活動



事例も踏まえながら、魅力的な地域活動や組織運営のあり方について、活発に意見が交換されました。

参加者からは「無理せず楽しみながら活動することが大切」「他の取り組み事例をもっと聞きたい」などの声も聞かれました。またアンケートでは「町内会加入者の減少」や「役員のなり手がいない」など深刻なご意見もあり、今後も課題解決のヒントとなるようなフォーラムを開催していきます。

お問い合わせ・地域の情報などはこちらまで



- 東区役所地域支援課
TEL 645-1041 FAX 645-1042
- 博多区役所地域支援課
TEL 419-1048 FAX 452-6735

- 中央区役所地域振興・支援課
TEL 718-1060 FAX 714-2141
- 南区役所地域支援課
TEL 559-5072 FAX 561-5360

- 城南区役所地域支援課
TEL 833-4061 FAX 822-2142
- 早良区役所地域支援課
TEL 833-4416 FAX 851-2680
- 西区役所地域支援課
TEL 895-7036 FAX 882-2137